

新生屋根材・新設塗装
シェアNo.1の
DNTが誇る

新生屋根材塗り替え塗料シリーズ

弱溶剤形高級ふっ素樹脂新生屋根用塗料

リフレッシュフツソ EXTRA

超耐候性

戸建て住宅・アパート集合住宅の屋根を長期間美しく護る

容量

15kgセット

(主剤:13.5kg 硬化剤:1.5kg)

弱溶剤
二液タイプ

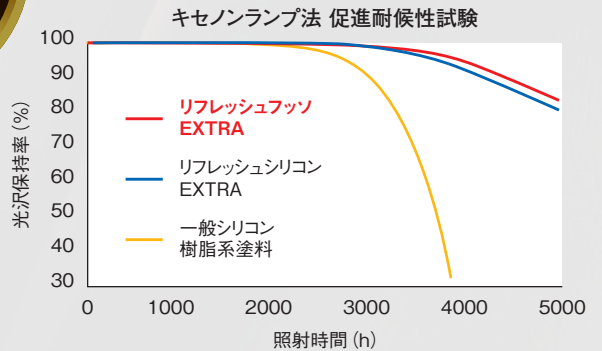
低汚染性

超耐候性
高耐久性

防かび
防藻性

抜群の
作業性

長期間、美しい光沢で屋根材を護ります。



塗り替え
ポイント

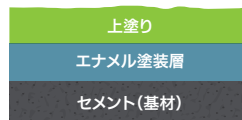
脆くなった下地(基材)には

EXTRA万能スマイルシーラー

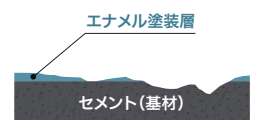
強力な含浸力で
下地(基材)を護ります。

劣化がエナメル塗装層にまで進行することにより、変退色が起こり、さらに進行すると部分的な基材露出となります。

基材自体が脆弱になる前に早めの塗り替えが必要です。



経年劣化(初期)



経年劣化(進行期)

塗り替え塗装後

EXTRA万能
スマイルシーラー

セメント(基材)に含浸

エナメル塗装層



大日本塗料株式会社

リフレッシュフツン EXTRA

塗料性状

項目		内容		
容姿		二液性		
容量		15kgセット(主剤13.5kg・硬化剤1.5kg)		
色相		各色		
光沢		つや有り		
密度	塗料	0.90~1.20		
	揮発分	0.80		
粘度(23℃)		80~105KU		
加熱残分		50~70%		
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃
	指触	1時間	20分	15分
	半硬化	4時間	2時間	1時間
標準膜厚		25μm/回		
引火点		SDS参照		
発火点		SDS参照		
爆発限界(下限~上限)		SDS参照		

注) 上記、塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

塗装基準

項目		内容		
下地処理		素材表面の油分・汚れ・埃などを除去し、乾燥した清浄な面とする。		
調合法(重量比)		主剤90部:硬化剤10部(重量比)		
熟成時間		-		
可使用時間		5℃: -	20℃: 8h	30℃: 4h
塗装方法		刷毛、ローラー、スプレー		
希釈剤		塗料用シンナー		
塗装法	塗装方法	刷毛、ローラー	エアレス*1	
	希釈率	5~10%	20~30%	
	標準使用量	0.11kg/m ² /回	0.13kg/m ² /回	
	標準膜厚	25μm/回		
	ウエット管理膜厚	-		
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃
	最小	4時間	2時間	1.5時間
	最大	7日	7日	7日

注) 標準使用量は実測値に基づき算出しています。また被塗物の形状などにより標準使用量は変動いたします。
*1 エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5~10%増やして下さい。

標準塗装仕様

工程	商品名	作業内容	塗り回数(回)	塗装方法	希釈率(%)	標準使用量(kg/m ² /回)	塗装間隔(20℃)
下地調整		汚れ・脆弱な層などを適切な工具(ブラシやサンドペーパーなど)を用いて除去する。 高圧洗浄機[圧力15MPa(150kg/m ²)]にて、ごみ・ほこり・コケ・その他付着物および浮いた表層を完全に除去し、清浄な面とする。					乾燥後
下塗り	EXTRA万能 スマイルシーラークリヤー	主剤:硬化剤=14:1の比率で混合し、塗料用シンナー又は塗料用シンナーAで希釈して塗装する。	1~2	刷毛・ローラー エアレス	30~50 30~50	0.10~0.12	16時間以上 7日以内
上塗り	リフレッシュフツン EXTRA	主剤:硬化剤=9:1の比率で混合し、塗料用シンナーで希釈して塗装する。	2	刷毛・ローラー エアレス	5~10 20~30	0.11 0.13	2時間以上 7日以内

※本チラシ値は製品を適性にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は事前にお問い合わせ下さい。

関連法規

危険物表示	主剤・硬化剤 :第2石油類
有機溶剤区分	主剤・硬化剤 :第3種有機溶剤含有物
有機物質表示	SDS参照
劇物表示	-

■ 施工上の注意

- ① 高圧水洗又はワイヤブラシによるケレン後、水洗い洗浄を実施必ず実施し、劣化塗膜や粉化物を除去して下さい。不十分な場合、美しい仕上がり感が得られない場合や、経年後、塗膜の膨れ・はく離の原因となるおそれがあります(下地処理調整判定法:乾燥後、ガムテープを貼り付け強く引きはがし、はがれないことを確認して下さい)。
- ② 水洗い洗浄後(乾燥後、降雨があった場合も雨が上がりしてから)水分が無くなるまで乾燥させて下さい。素地の乾燥が不十分のまま塗装した場合、塗料が表層に十分含浸しないため、塗膜の膨れ・はく離の原因となり、耐久性が低下します。
- ③ 塗装間隔は、気象条件で変わります。塗膜の乾燥を確かめてから塗り重ねて下さい。
- ④ 塗装場所の気温が5℃以下、降雨・降雪・強風時は塗装を避けて下さい。
- ⑤ 塗料の表層への吸い込み状態を見ながら、劣化の著しい所は標準使用量をやや多めにして下さい。
- ⑥ 塗装中に発泡が生じた場合は、シンナーの希釈量を若干増して下さい。
- ⑦ 粘土瓦・いぶしき・釉薬瓦および洋風コンクリート瓦(モニエル瓦)には使用できません。
- ⑧ 水切り部で、上下の瓦が塗料で接着している箇所は、スクレーラーなどで縁切りを行って下さい。縁切りが無い場合、雨もりの原因となります。

■ 使用上の注意 引火性の液体で、危険有害性情報のある物質を含有していますので、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

● 取扱い上の注意

1. 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
2. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
3. 取扱い中は、皮膚にふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護メガネ、長袖の作業着、入り巻きタオル、保護手袋等。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
5. 塗料のついたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
6. よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
8. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
10. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

● 緊急時の注意

1. 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
2. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 皮膚に付着した時には、多量の水で洗い落とし、痛みや皮膚に変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
5. 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診断を受けて下さい。
6. 容器からこぼれた時には、布で拭き取り、その布の水の入った容器に保管して下さい。

※本チラシに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

※本製品の内容は予告なく変更することがあります。

※本チラシに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。

DNT 大日本塗料株式会社

- 大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)
- 東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
- 札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
- 仙台営業所 ☎022-288-8866 ☎984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-1 (齋喜センタービル)
- 名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
- 広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
- 福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716 <https://www.dnt.co.jp/>